

◆場所 神戸市相生町一丁目

神戸労働學校要覽

◆目的 新時代の労働者の養成
◆經營 労働文化協會

創立要旨

労働運動をして單に労働者の物質的生活を向上せしむる運動に止まらしむるなかれ。更に、これに光と力を與へて眞理と人格の支配する労働文化創造の運動たらしめよ、ここに初めて労働運動の文化的意義が生ずるのだ。
先づ労働者に眞の覺醒を促し、労働運動に深き根底を與へねばらぬ、それは「労働」と「學問」を結合させることを措いて外にない。
今日、労働者の養はれてゐるものは極めて多い。然し、學問はその最大にして、且つ根本的のものではあるまいか、労働運動のなすべき仕事は多い、然し、労働者教育運動はその最も深刻にして、且つ緊切なものではあるまいか。
智識に飢わかはける労働者は幸ひなるかな。
これ本校創設の精神である。

大正十三年四月

神戸労働學校

校長 久留弘三

講師 (本科及科外)

兵庫縣工業懇談會幹事 早稻田大學講師 神戸女學院々長 縣社會課囑託 文學士 神戸基督教育青年會主事 關西學院教授 法學士 神戸女學院教授 工學博士 辯護士法學士 辯護士法學士 神戸高商教授 神戸高商教授 協同會大阪支所長法學士 労働文化協會主事 市社會課長 關西學院教授商學士 東京職業紹介事務局長 神戸高商教授 辯護士法學士 神戸労働學校長

石野 爲之介
林 癸未
小 田 直
奥 村 龍
河 上 文
横 川 四太
高 田 義龍
堤 山 良
丸 井 谷 喜
藤 井 澤 光
齋 藤 信
北 村 大義
木 野 敏
遊 野 吉
日 野 吉
平 野 吉
久 留 三郎

授業時間割

本 科
火曜日 自午後八時三十分〜十時
水曜日 自午後八時三十分〜十時
木曜日 自午後八時三十分〜十時
英語科 金曜日 自午後八時三十分〜十時

學生心得

登校ノ際ハ必ず聴講券ト上草履ヲ御携帶下サイ、聴講券ナキモノハ入場ヲ謝絶スルモノト御承知下サイ。
聴講券ハ他人ニ貸シテハナリマセヌ。